

平成30年度 第一回南風原町男女共同参画推進会議 意見概要

日時：平成30年4月11日（水）午後3時～5時

場所：南風原町役場 4階 401会議室

参加者：8名 ※敬称略

新垣誠、山中久司、平田峯子、高嶺喜美子、仲村渠苗子、

大城早恵子、赤嶺マキ、新垣奈々

事務局：南風原町企画財政課

■意見概要

議題1：第二次南風原町男女共同参画計画（まじゅんプラン）進捗状況及び見直しについての答申案の確認について

- （1）沖縄は福利厚生が整っていない企業が多く、会社と社員の関係もすれ違いが生じているように思う。理由としては、環境に不満があっても声をあげずにいるからではないか。声をあげると煙たがられると思いこんで。これらを改善するためには、幼少期からの教育が大事だと思う。自己肯定感が低いまま育ってしまっている。そして教育をする大人（親）が偏見の目を植え付けている部分もあるから、多様性（他人と違って良い）についての理解を広めることが大事ではないか。
- （2）人権週間に合わせて、町のまじゅんプランを活用した教育を南風原の子どもたちに出来ないか。男女混合名簿のこととか、ジェンダー教育についてとか。
- （3）人権教育については、人権擁護委員が各学校に行って授業をしてはいますが、市町村との連携は今の所ありませんので、教育委員会と学校と人権擁護委員が連携して取り組めたら良いなと思います。しかし、学校には年間計画があり、学校側からテーマを要望されるので、今すぐ実践ということは難しい。もっと町のプランや施策が浸透していけば将来的には可能になると思う。
- （4）男性福祉の観点から、男性ももっと地域に関わってもらいたいけど、中々出てこない。全国的にも同様な問題は抱えていると思います。また男性は、サークルとかイベントとかの情報が行き届いていないのではない

かとも感じる。周知が足りていないのではないか。

- (5) 定年後の男性にとって活躍の場をもっと提供できないか。昔遊びとかうちな一ぐちを教えたりとか、絵本の読み聞かせ、保育ボランティアとか。ただ、全てをボランティアという風にすると、長く続きづらいとも思います。

議題 2：平成 30 年度事業計画（案）に関する意見

- (1) 女性リーダー育成や女性セミナーなどがありますが、男女共同参画推進会議委員の視察とかはありませんか。委員の資質向上のためにも先進地視察とかをして共通認識を持った上で議論した方が、町に新しい要素を取り入れたりもできるのではないかと思います。地域の中だけを見るのではなく、他所も見たほうがアイデアも生まれる。
- (2) もし女性の翼への応募が無かった場合は、同様の趣旨で地域の女性リーダー育成ということで、女性リーダーを全国女性会議等に派遣できたら良いかもしれませんね。
- (3) 教育現場においても、当事者（性同一性障害や障がいを持つ子）が声をあげても受け皿がちゃんとしていないと厳しい。これは先生が悪いのではなく体制に問題があるんだと思います。少しずつでも改善していきたい。
- (4) 事業計画について、相談するとか検討するという文言が多い。これまでも、推進するとあるが、ずっとそのままで止まっている。学校ではすでに具体的に取り組んでいる部分もあるので、それを踏まえて具体的な話をしないと変わらない。担当一人でするのではなく、協力できる人をまきこんで進めるような体制が出来ればいいのでは。
- (5) 推進会議の委員として、学校現場に入り込めないんですか？学校と当事者の両方の話を聞いた上で、解決策とかを考えられたらと思うんですが、第三者ということで入れないんですよ。
- (6) 新しく出来たまじゅんプランを持って、私たち委員が学校に宣伝に行くということがあってもいいんじゃないですかね。
- (7) 読み聞かせの中に入れ込んで、子どもたちに触れさせるというのはどう

でしょう。周知できなければ無意味ですし、大人はもちろんですが、やはり子どもたちに触れさせるきっかけをつくることも大事では。

- (8) 民生委員や福祉協力員など、地域の子どもたちのことを把握している人たちもいるので、もっと学校と連携して取り組んでいきたい。民生委員と先生方との交流会もありましたが、最近は無くなっていることも気になります。
- (9) まじゅんプランを立てたにも関わらず、実行する上で今の庁内の体制が充分なのかという声があがっていることは、推進本部にも伝えていただきたい。また、まじゅんプラン自体の周知も、町内はもちろんですが庁内でもどれくらい周知出来ているかという所ですよね。
- (10) 学校現場への周知として教員への研修や、議員さんや自治会長さんへの周知を行い、地域に広めてもらうようお願いするなどですね。
- (11) 役場のロビーとかイオンなどでのパネル展を実施しても、中々足をとめないのではないかと思います。
- (12) 学校などでの普及はどうでしょうか。学校公開日に合わせてなど。
- (13) 既存の広報ツールを見直して、四コマ漫画を活用したり SNS にアップしたりするなど、意識づくりのために広報ツールの見直しを図るということを事業計画にも入れていただければ、次に繋がるのかなと思います。

☆次回会議 7月～8月頃予定